サマーレビュー協議事項調書

1 部局名	学校教育部(教育総務課)		
(課名)	市民部(中山間地域振興課)		
	天竜区 (区振興課)		
2 協議事項 (案件名)	県立浜松湖北高等学校佐久間分校の生徒確保に向けた支援について		
	【背景・現状】		
	・佐久間分校入学者の状況と佐久間・水窪地域の生徒数		
	入学年度 H30 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7		
	入学者数 24 14 14 19 21 22 11 13		
	うち寮・下宿 - - 0 9 5 4 3 7 ※R3 は特例により募集実施		
	入学年度 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 R15 R16		
	R7学年 中3 中2 中1 小6 小5 小4 小3 小2 小1		
	佐久間中・水窪中 16 11 13 12 7 5 4 1 3		
	・佐久間分校の入学者は、2 年連続で 15 人未満となり、県の基準に基づ		
	いて令和8年度生徒募集が停止となる可能性があった。		
	・以下の理由から特例として令和8年度募集継続が決定。(R9以降未定) ・ 地域が寮の運営に尽力していること ※1		
	▶ 市が「地域みらい留学」を実施すること ※2		
3 背景・現状	▶ 令和8年度に入学対象となる地元の中学生が16人いること		
(現状把握で	▶ 地元中学生の佐久間分校への進学率が7割であること		
きる統計数 (※1) 啓成寮(県所有) または下宿(個人所有) に入居している生徒は 13 名			
値など)	〈啓成寮〉定員 12 名:10 名が入寮中、〈下宿>3 名 (※2) 令和 8 年度入学者確保に向けて、県外生徒募集を支援する「地域みらい8 学」に参画し、専用の WEB サイトや説明会等を通じて全国から生徒を募身		
	できるよう準備を進めている。(定員 40 人の 15%、6 人上限)		
	【県内の状況】		
	川根本町(県立川根高校)と伊豆市(県立伊豆総合高校土肥分校)が「地		
	域みらい留学」に参画し、地元県立高校の生徒確保に向けた支援(寄宿		
	舎の設置・運営、下宿費の補助など)を実施。		
	 【議会質問等】		
	【畷云真川寺】 令和7年5月議会 渥美誠市議(自民浜松)		
	「智力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	【答弁】中山間地域振興計画も踏まえ、幼児教育・保育から高校教育まで、		
	安全・安心に学べる教育環境の確保に向けて取り組んでいく。		
	・生徒募集継続には、まず、令和8年度に入学者15人という基準をクリ		
	アする必要があり、地域外から入学する生徒が安全・安心に学べる生活		
	環境の整備が重要。		
	・寮の令和8年度受入可能人数は2人であり、新たな下宿先の確保が喫緊		
4 検討経過・	の課題となっている。		
課題	・寮の運営は、佐久間地域住民によりボランティアに近い形で運営されて		
	おり、市からの支援を要請されている。		
	・佐久間分校が募集停止となった場合、高校進学を機に転出・転居する家		
	庭が増えることが懸念される。		

5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	向けて、全国公募に加え、新たな下 支援などを市が主体となって取り約 ・支援の実施にあたっては、佐久間分	るため、佐久間分校の入学者確保に 宿先の確保・整備や管理運営等への 組んでいく。
5-2 上記の方 向性決議 論 (妥性、 の要性、 の要性、 の性など)	県立浜松湖北高等学校佐久間分校の生業等を実施する。 1 下宿先支援事業 (1)市による下宿先の確保等 ・市営住宅や教職員住宅の空室、・生活に必要な家具・家電の用意・下宿場所によって遠距離通学と (2)寮の運営に対する支援 ・運営に対する補助制度の検討 2 佐久間分校をサポートする人材の・日常生活に係る相談対応や健康・佐久間分校と地域をつなぐコー・下宿の食事提供や維持管理、地	民間住宅の活用 気(リース) なる場合の通学支援)確保 長管理、緊急時の支援
6 結果	□提案どおり進める ■提案内容を一部見直して進める □再度、調査研究等を行い検討 □その他	具体的内容 来年度の入学者確保に向けた積極 的な周知と佐久間分校に係る魅力 となるような取組を検討すること。
7 その他		